

# Wood Letter

Ψ Moku推し Ψ

令和8年1月vol.59



流通現場見学会 青梅市の主伐現場にて

森林環境譲与税 ご担当者の皆様へ

日頃より、東京の木 多摩産材をはじめ国産木材の利用推進についてご理解及びご協力をいただき誠にありがとうございます。

新しい年が始まり、街にはお正月ならではの華やかさと冬ならではの澄んだ空気が広がっています。今年はデジタル化やAI技術の進化がますます加速し、行政手続きや日常生活のあらゆる場面で「スマート化」が進み、便利さとともにうっかりAIにツッコまれる日々が増えてきました。

1月は新しいことに挑戦する絶好の機会です。今年の干支にちなんで「今年こそはウマくいきますように！」と新年の決意を胸に、スピード感を持っていろいろな課題に取り組んでいきたいと思います。

ということで今月も“Wood Letter Ψ Moku推し Ψ”vol.59をお届けいたします。ぜひともご参照いただき、貴団体内の関係する部署にも転送していただくなどご協力をお願いいたします。

：森づくり推進担当一同：

## (1) 第2回 森林環境譲与税担当者会議

12月5日(金)、新宿パークタワー5階のMOCTION セミナールームで「令和7年度第2回 森林環境譲与税担当者会議」を開催しました。19自治体31名の方々(うち島しょ地域3自治体はWEB参加)にご参加いただきました。

今年度から新たに森林環境譲与税の担当となった方も参加され、アンケートでは「森林環境譲与税の仕組みの解説が分かりやすかった。」「林野庁からの報告事項等の説明があり、今後の森林環境譲与税の使途を検討していく上で参考となった。」といった声が寄せられました。

会議は3部構成で実施しました。第1部では東京都からの報告や情報提供、第2部ではあきる野市による多摩産材利用促進プロジェクトを活用した「フレア五日市」についての講演、第3部では東京都が開設した「MOCTION」と「TOKYO MOKUNAVI」の施設見学を実施しました。

あきる野市の講演では「多摩産材を利用した建築物に関して工夫した点や苦勞した点などを知ることが出来た。」「多摩産材の調達方法や工期の設定、業者の選定方法などの具体的な話を聞くことが出来、参考になった。」といった感想がありました。

また、施設見学では「全国の木材活用の事例や製品を知ることが出来た。」「東京の木多摩産材の製品の魅力を感じる事が出来た。」といった声が多く寄せられました。

最後に、ご協力をいただきましたあきる野市の皆様に、この場を借りて心より御礼申し上げます。



## (2) WOODコレクション (モクコレ) 2026開催のお知らせ

東京都は、木材の大消費地である東京において、さらなる木材利用の拡大に向けて、日本各地の地域材を活用した建材や家具などの木材製品展示商談会（モクコレ）を開催しています。今回が10回目となるこのイベントには、39都道府県から約320の事業者が参加予定です。会場では事業者による最新の木材活用事例が多数紹介されますので、譲与税活用方法についてのヒントが得られるかもしれません。入場は無料ですが、事前登録が必要ですので、ぜひご登録のうえお気軽にご来場ください。

### 1 日時

【リアル展】 2026年2月12日（木）10時00分～17時30分  
2月13日（金）10時00分～16時30分

【オンライン展】 2026年1月19日（月）～ 2月27日（金）

### 2 会場

東京ビッグサイト 西1・2ホール

### 3 主な展示・イベント

#### ①展示エリア

多摩産材をはじめ、日本各地の魅力的な木材製品が並ぶ展示ブース

#### ②ステージプログラム

著名人等によるセミナーやトークショー

#### ③一般消費者向け企画

木育をテーマに木材製品に触れて楽しむイベントエリアや、ワークショップ、製品即売会等



WOODコレクション (モクコレ) 2026

公式ウェブサイト

URL: [WOODコレクション\(モクコレ\)2026](https://woodcollection.jp/2026)

### 4 ご来場方法

#### 事前登録が必要です。

公式ウェブサイトへアクセス

→ページ右上の事前来場登録をクリックして項目を入力

→登録後、登録完了メールに記載のURL又はサイトトップの入場者マイページからログイン

→1月19日以降に入場証をダウンロード・印刷して来場時にご持参ください



今回のテーマ:

国産木材が切り拓く  
ミライの産業・社会・暮らし

木材の魅力や最新の活用事例に触れられる絶好の機会です。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

## (3) MOCTION 開館5周年記念 特設ページ公開

東京都が運営する、国産木材の魅力と活用の最前線を発信する拠点「MOCTION」は、令和7年12月で開館5周年を迎えました。これを記念して、特設ページが公開されています。

特設ページでは、小池都知事や隈館長、これまでにMOCTIONセミナーに登壇された専門家や自治体、事業者からのメッセージが掲載されており、MOCTIONのこれまでの歩みや広がりを感じられる内容となっています。

また、5周年記念動画では、国産木材の「いま」と「これから」をテーマに、過去5年間のセミナー登壇者の中から5名の専門家が、建築・森づくり・木育・教育・森と人などさまざまな視点から語る10分ほどの動画もご覧いただけます。

このほか、これまでの5年間の軌跡を振り返るコンテンツや、モクコレ2026で開催される、5周年記念イベントの紹介記事も掲載されています。ぜひご覧ください。

URL: <https://moction.jp/5thanniversary/>





## (4) 山しごと体感フェスティバル 開催のご案内

2026年2月7日(土)・8日(日)、立川市の国営昭和記念公園で、「山しごと体感フェスティバル Woody Wonder World」が初開催されます。入場無料、事前申し込み不要でどなたでも気軽に参加できます。

### 1 日時

2026年2月7日(土)・8日(日) 10時～16時

### 2 会場

国営昭和記念公園 みどりの文化ゾーン内  
花みどり文化センター及びゆめひろば

### 3 入場

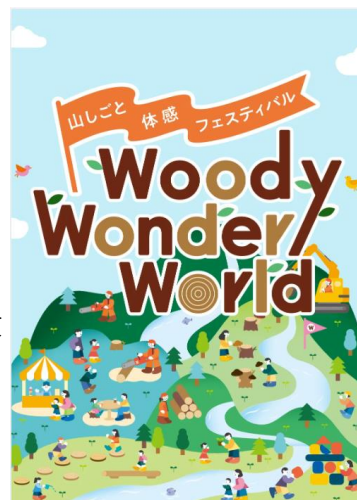
入場無料、あけぼの口、高松口をご利用ください。  
JR西立川駅からご来場の際には有料ゾーンを通る必要がございます。

### 4 主な体験・展示・イベント

林業技術者によるチェーンソーパフォーマンスや林業機械の展示・体験  
丸太切り・VR林業体験、木工ワークショップ、各種ステージ企画など  
山や森の仕事の魅力を五感で体験できます。  
詳しくは公式サイトをご覧ください。

公式サイト：[山しごと体感フェスティバル「Woody Wonder World」](https://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/kankyousei/kankyousei_jouyouzei.html)

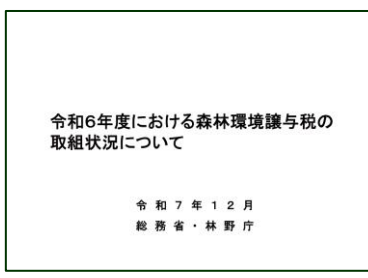
森や山の仕事の世界を「見て・触れて・感じる」ことが出来る2日間、ぜひご来場ください。



## (5) 令和6年度 森林環境譲与税の取組状況 (全国版)

林野庁は、「令和6年度森林環境譲与税の取組状況」をホームページで公開しています。この情報は、全国の自治体が森林環境譲与税の活用額の状況、市町村、都道府県の取組状況が掲載されています。東京都の事例としては、自治体間連携による森林整備で足立区が掲載されています。

昨年度から森林環境税の課税が始まり、全国の自治体で本格的な活用が進んでいます。森林環境譲与税の活用にあたっては、使途の明確化や自治体間連携の強化、住民への説明責任が引き続き重要なテーマです。森林整備や木材の利用など、それぞれの自治体に合った使途をご検討ください。



林野庁ホームページ 森林環境税及び森林環境譲与税

[https://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/kankyousei/kankyousei\\_jouyouzei.html](https://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/kankyousei/kankyousei_jouyouzei.html)

\* 取組状況への直接アクセス

[https://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/kankyousei/attach/pdf/kankyousei\\_jouyouzei-23.pdf](https://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/kankyousei/attach/pdf/kankyousei_jouyouzei-23.pdf)

## (6) 令和6年度 森林環境譲与税 取組事例集の作成

例年、皆様にご協力いただき作成しています「都内全区市町村版の取組事例集」につきまして、今年度も令和6年度実績分として、冊子を作成します。

そこで、令和7年3月4日に作成依頼し、ご提出いただいた「取組事例」及び「様式1-1」について、決算確定後、見込時点から内容等に変更がありましたら、反映をお願いします。

\* 本件は、1月5日に森林環境譲与税ご担当者様宛てメールにて依頼させていただいております。詳しくは当該メールをご確認ください。

誠に勝手ながら、令和8年1月21日(水)までにご回答をお願いいたします。

※ 昨年度分(令和5年度分)につきましては、下記東京都産業労働局URLよりご覧いただけます。

<https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/sangyo-rodo/2025-05-16-084053-817>

## (7) MOCTION 企画展示

木材の大消費地である東京でのさらなる木材利用の拡大に向け、国産木材の魅力を発信する拠点「MOCTION（モクシオン）」では全国各地の木材製品の展示が行われています。

10月23日～11月4日 秋田県



日本3大美林の一つである「秋田杉」のイメージをさらに踏み込み、修正・積層技術やCLT、合板など、新しい加工技術やデザインを取り入れたベンチや椅子、時計が並ぶ。

11月6日～11月18日 岩手県



18種のフローリングや県産木材の香りが楽しめるジャムやシロップなどを展示。大船渡の森林火災の被災木は表面は黒く燃えたが、内部には炎が到達せず木材として使用可能。

11月20日～12月2日 岡山県



匠の技で木本来の美しさを最大限に引き出した家具、ベンチ、食器、まな板などを展示。中でも木で作られたガチャガチャは人気で、何度でも回してみたくなり大人や子供に好評。

12月4日～1月6日 隈研吾展



隈研吾館長が手掛けた「かがくの里母屋」プロジェクトを中心に「人と里山の新たな関係」を問い直す展示。母屋の丸太組みの過程や里山で循環する資源、生物多様性などを紹介。

1/8～1/20は神戸市、1/22～2/3は宮崎県延岡市の企画展示となります。ご来場をお待ちしています！

### ちょこっとコラム（ご存知でしたか？こんなこと）

#### ”木材流通を支える「川上」「川中」「川下」とは？”

林業では、山林から生産された木材が私たちの暮らす街まで届くまでの流れを、山と川の関係に例えて、「川上」「川中」「川下」という言葉で表現します。「川上」は山林での伐採や素材生産から原木市場への出荷までの過程、「川中」は木材を製材・加工し、建材などに仕上げる過程、「川下」は加工された木材が住宅や建築物などとして消費者に届く過程です。この一連の流れは、木材のサプライチェーン(供給連鎖)そのものであり、各段階が密接に連携することで、地域の木材産業の発展や地域社会の活性化につながっています。現在、東京では人工林が着実に成長しており、今後さらに森林資源の活用が進むことが期待されています。地域間の連携を強化し、持続可能な林業と豊かな暮らしの実現を目指しています。

「WOOD LETTER Moku推し（ウッドレター モクオシ）令和8年1月vol.59」

〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 東京都庁第一庁舎21階中央

東京都産業労働局農林水産部森林課 森づくり推進担当

TEL03(5000)7198(直通) 担当: 秋葉、伊藤、小山、中田、中村

森林環境譲与税はもとより、多摩産材の利用等東京の森林・林業に関することにつきましてもお気軽にお問合せください。

TokyoTokyo Old meets New

みどりと生きるまちづくり  
Tokyo GREEN BLZ

Y-000815